

全国市長会の

動き

3月12日～4月11日

詳細につきましては、全国市長会ホームページ
(<http://www.mayors.or.jp/>)
をご参照ください。



久保田・宇部市長

#1 「第4回『そうだ、地方で暮らそう!』国民会議」が開催され、久保田・宇部市長が出席

3月20日、「第4回『そうだ、地方で暮らそう!』国民会議」が開かれ、久保田・宇部市長が出席した。

会議では、各界から参加した委員が、それぞれの移住・交流に関する取り組みや国の地方創生に関する取り組みについて意見交換を行った。

久保田・宇部市長からは、自らの体験や「わくわく体験インターンシップ」制度など、宇部市の取り組みについて発言があった。

〔行政部〕



清原・三鷹市長

#2 「第5回少子化克服戦略会議」が開催され、清原・三鷹市長が

「子ども子育て世代のために自治体が努めていること、求められていること」について意見陳述

4月4日、「第5回少子化克服戦略会議」が開催され、松山・内閣府特命担当大臣（少子化対策）からのあいさつ、関係者からのヒアリングと意見交換が行われた。

本会から清原・三鷹市長が出席し、三鷹市が実践している具体的な施策を紹介するとともに、求められる施策の方向性を提案し、市民満足度の高い子ども子育て支援サービスの向上を図るためには、国によるナショナル・ミニマムの保障と地域を越えた連携を可能とする支援により、自治体間の協働と連携を促



林・横浜市長

4月5日、「第4回 幼稚園、保育所、認定こども園以外の無償化措置の対象範囲等に関する検討会」が開催され、地方自治体からのヒアリングと意見交換が行われた。

#3

「第4回 幼稚園、保育所、認定こども園以外の無償化措置の対象範囲等に関する検討会」が開催され、構成員の林・横浜市長が出席、大西・高松市長、丸山・西東京市長が意見陳述

進し、妊婦健診、乳幼児の予防接種、保育園等の利用、障がい児支援、虐待事例の支援、里帰り出産のストレスの緩和、感染症の予防および対策等の子ども子育て支援を進める必要がある等の発言を行った。

〔社会文教部〕



丸山・西東京市長



大西・高松市長

本会から構成員として、林・横浜市長が出席するとともに、大西・高松市長、丸山・西東京市長が出席した。両市長はそれぞれの市の実情を説明した後、幼児教育無償化等について意見陳述を行った。

〔社会文教部〕

#5 「全国市長会創立120周年記念市長フォーラム（I）」を開催
4月11日、全国都市会館において、「分権時代における基礎自治体の果たすべき役割」をテーマとして開催し、150名を超える市長が参加した。松浦会長からのあいさつの後、東京大学名誉教授の西尾勝氏による基調



理事会の様子

#4 理事会を開催

4月11日、全国都市会館において理事会を開催した。
松浦会長からのあいさつその後、1月24日開催の理事・評議員合同会議以降の諸会議の開催状況等について報告を行った。

〔企画調整室〕

4月11日、松浦会長は、ふるさと納税に係る返礼品の送付等に関してコメントを発表した。
 「**財政部**」

#6 「ふるさと納税に係る返礼品の送付等について」(全国市長会会長コメント)を発表

講演が行われた。次に、読売新聞東京本社編集委員の青山彰久氏をコーディネーターに、首都大学東京法学部教授の大杉覚氏、水谷・網走市長、森・富山市長、太田・豊田市長、久元・神戸市長、伊東・倉敷市長によるパネルディスカッションが行われた。

「**行政部**」



西尾・東京大学名誉教授



パネルディスカッションの様子

市 政 読 書 室

石原信雄回顧談

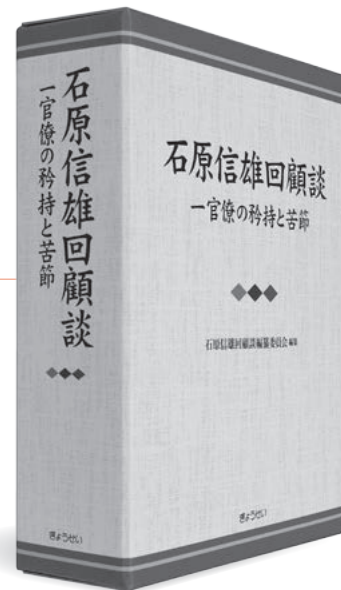
一官僚の矜持と苦節

石原信雄回顧談編纂委員会／編集

株式会社ぎょうせい 定価12,000円(本体)全3巻セット

自治官僚として、今日の地方行財政制度の基盤を築き、内閣官房副長官として7代の総理に仕え、激動期を生き抜いてきた石原信雄氏の足跡。

①我が人生を振り返る②霞が関での日々ー自治官僚としてー③官邸での日々ー内閣官房副長官としてーの全3巻で、公務員や政策の在り方など、示峻に富む発言が数々あり、地方行財政制度の歴史や平成初期の社会的出来事がわかります。是非、ご一読ください。



市政

平成30年5月号